

『変わる世界とわたしの日常について』

第一話 「世界が変わる。わたしの日常は？」

〈登場人物表〉

ほのか (20)

大学生。ファミレスでバイトしている。

みちる (20)

ほのかの大学の友人。バイト先も一緒

〈あらすじ〉

マスクをつけるのが当たり前になった世界。大学生のほのかは友人のみちるとカフェでお茶をしていた。

友人のみちるとお茶をしているほのか。

対面で座っており、目の前にはアクリル板が。

黙々とケーキを食べている2人。

食べ終わってすつとマスクを着用して

ほのか

「…」

みちる

「…」

ほのか 「…いや、シユールすぎん？」

みちる 「わかる(笑)」

少し離れた席にはマスクをしないままで話している若者の姿も。

ほのか 「…大丈夫なのかね？ああいうの」

みちる 「(と、別席に目を向けて)…ああ。なんか完全に気緩んできてるよね」

ほのか 「最初の頃は結構はりきって自粛してたけどね」

みちる 「はりきって自粛って、どんなや(笑)」

ほのか 「とりあえず部屋にテント張ってた」

みちる 「部屋にテントって、意味な(笑)」

ほのか 「あとは無駄に料理凝りたくなって、炭酸水作るやつとかパン作るやつとか買ってみたけど、秒で飽きたわ」

みちる 「自粛あるある(笑)」

ほのか、マスクの隙間からストローを入れて飲み物を飲んでいる。

みちる 「最近話題になってるけどさ、ワクチン。効くらしいね」

ほのか 「へえ」

みちる 「興味なっ(笑)」

ほのか 「いや、ワクチンってどうなの？実際」

みちる 「私もよく分かんないけど、まあ結構効くらしいね。え、受けないの？」

ほのか 「ん〜受けるべきか？とは思うけど、予約とかさ〜」

みちる 「私この前予約したよ〜」

ほのか 「嘘、早っ！え、面倒くさくない？」

みちる 「推しのチケット取るので慣れてるから」

ほのか 「あ〜〜」

みちるはスマホをいじりながら

みちる 「あ、なんかサイトあるね」

ほのか 「…え、意外にかわいい(笑)」

みちる 「ちなみにワクチンは、ドイツ語のヴァクツインが由来らしいよ」

ほのか 「へえ〜」

みちる 「(いい発音で) ヴァクツイン」

ほのか 「(いい発音で) ヴァクツイン」

みちるもマスクの隙間から飲み物を飲んでる。

みちる 「やば。いまめっちゃ歯に(ストロー) 刺さった。歯茎えぐれたわ(笑)」

ほのか 「大丈夫。マスクあるから(笑)」

テーブルの上にはスマホが置かれており、画面にはサイトのトップ画が表示されている。

END